

Case Study 3

株式会社 ユーキャン

地域情報化が私たちの使命です！

Data

対象事業：IT 関連サービス、情報処理サービス業

対象リスク：大規模地震

被災シナリオ：栃木県で震度 6 強の地震が発生

事業継続策：インフラ（インターネット、電話回線）の確保



企業名 株式会社 ユーキャン

代表者名 山田 義治

Q 御社の事業内容は？

- ・自治体向け SI 事業、IT コンサルティング、データ放送管理
- ・学校・教育機関向け授業支援、ITC 研修、IT 機器サポート、ネットいじめパトロール、メール配信サービス
- ・医療事務・一般企業向け教育支援

Q 今回 BCP 策定に取り組まれた理由を教えてください。

BCP は東日本大震災前に策定したものがありませんでしたが、形式的な文書でしかなくほとんど役に立ちませんでした。

震災を経験した教訓から行った対策（蓄電池等）もあるのですが、事故が起こったときの具体的な対応が不十分であり、今回の講習をきっかけに実効性のある対策を策定しようと考えました。

Q 策定した BCP の主な内容（ポイント）を教えてください。

弊社では ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）の認証を取得し、定期的にリスク対策を行っています。また、業務見える化のツールである BPEC を業務負荷分散やリスク対策に役立てています。今回の BCP 策定では、これらのリスク分析や業務見える化を応用して役立てよ

うと考えています。

また、弊社サービスである「メール配信サービス」による緊急時配信テストをノー残業デーの定期連絡を兼ねて行っています。

Q BCP 策定によって得られた気づきはありましたか？

本講習からのご紹介で、NHK 宇都宮放送局「とちぎ 640」の BCP に関する特集番組の取材を受けました。取材を通じて取り組みを見直すことができ、計画策定への励みになりました。

Q 今後の課題と方向性について教えてください。

参集リストや訓練等、未整備の部分がありますので、まずは BCP の完成・周知を目指します。また、新型ウイルス流行時の対策や「社長不在」に対する広義の BCP も視野に入れ、あらゆる危機に強い対策を策定していけたらと考えています。

商号	株式会社 ユーキャン
本社所在地	栃木県宇都宮市清住二丁目 5-10
設立	2000 年 12 月 14 日
資本金	1000 万円
従業員数	40 名
代表者	山田 義治
事業内容	IT コンサルティング、IT 関連サービス、情報処理サービス業
URL	http://www.ucan-ltd.co.jp/